

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスminami			
○保護者評価実施期間	2024年11月20日		～	2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		～	2025年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 静の空間と動の空間がある為、伸び伸びと過ごせる。	・ 2部屋を使用するので、指導員の配置が偏らないようにしている。	・ 広い空間を有効活用する為に、様々なレクリエーションを提供していく。
2	・ SNSで活動内容の発信をしている。	・ 掲載不可のお子様もありますが、楽しく活動している写真を多く掲載しています。同時に、職員も一緒に楽しんでいる様子をお伝えし、ご家庭でお子さまと一緒に楽しめるようにしています。	・ 身近な投稿もチェックして下さる保護者様が多いので、ちょっとした内容でも更新し、頻度を上げていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ バリアフリー化が難しく、身体障害児の受け入れが困難である。 ・ 車の乗降場から玄関までの距離がある。	・ 事業所が2階であり、エレベーターがないこと ・ 階段が急であること	・ 事故防止の為、児童が階段を昇降する際は指導員が下になるように配置する。 ・ 階段への飛び出し防止の為、2階の門扉は必ず閉める。
2	・ 指導員が少ない。	・ 求職者の応募がない	・ 有料求人媒体の活用や、求人票の見直しを行う。
3	・ 保護者会やペアレントトレーニングができていない。	・ スタッフの力量不足	・ 有効活用できそうな研修への参加と職員間での共有

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年1月31日

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービスminami

対象人数(保護者)13人 回答者数 11人 回収 84.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		事業所が2階である為、職員間でも飛び出しを回避するよう、外の扉は必ず閉めること、階段は下に職員を配置するようにしています。また、開所当時より、階段の縁に滑り止めと反射シールを貼っております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	8	2	現状として、近所の公園に外出した際は地域の子との交流があります。
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	7	2	今後の参考にさせていただきます。
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7	3	今後、参加希望者が多ければ、開催してみたいと思います。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1		今後も、保護者様との連携を大切にしていきたいと思います。
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			今後もお子様の楽しく活動している様子をお伝えしていけたらと思います。
㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉔	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3		送迎時の安全マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対策マニュアルを策定しております。また、年に2回、訓練を療育の中で実施しております。該当日に利用したお子様には協力をいただいております。
	㉕	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	7		年に2回、訓練を実施しています。今後、防災センターでの訓練・研修も予定しております。
	㉖	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	10	1		
	㉗	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	9	2		
満足度	㉘	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1		
	㉙	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1		
	㉚	事業所の支援に満足していますか。	11			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスminami		公表日		2025年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		部屋が広いので、指導員の配置が偏らないように気を付けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4	1		今後、送迎が厳しくなってくるのでスタッフの増員が必要となってくる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	室内の構造化はできる範囲で行っている。	事業所が2階の為、階段や玄関の段差はバリアフリー化できていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		静と動の空間を分けている。	音に対して無音で集中できる環境ではないので、利用者様のニーズに合わせて設置または環境を整えていく必要はあると思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		来客がない場合は相談室を静養室と兼ねて使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修に参加しやすい環境にしている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		アセスメントはできているが、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは使用していない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		送迎や清掃もあるので、必ずはできない。できない時は翌日行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		送迎時に学校と連携は取るが、時間を取って会議等は、時間調整がつかない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		努めることはできているが、実際に情報共有をする事例がなかった。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		該当児童が居ない為、今年度は行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		予定を合わせて交流の機会は作っていないが、公園に外出した際は地域の子と関わっていることもある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		メール機能を用いて気軽に連絡をして頂いている。	保護者様によっては就労等で連携が取りにくい方もいる。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		要望があれば行いたい。指導員の専門性不足も課題である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			必要に応じて、面談を行っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		既に学校等で保護者同士の繋がりができている方も居るので、希望者が今後増えればイベントとして行うなど検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	保護者様に写真掲載の承諾を頂き、SNS(インスタグラム)で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			外部に出向くことはあるが、療育室内の個人情報保護の観点から安易に事業所内に招き入れる事はできない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルは作成している。	訓練は年度内に予定している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギーがある児童は、食事のテーブルを分けたり、アレルギー対応専用のおやつボックスを作るなどしてアレルギー混入を防いでいる。	医師の指示書は貰っていないが、指示書に基づく対応を保護者様から聞いている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		今後、都度報告書の作成が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束は行わないが、契約時に説明している。		